

山口大学レジリエンス研究センター

第10回

防災・減災講演会

主催：山口大学地域レジリエンス研究センター

後援：自然災害研究協議会 中国地区部会

特定非営利活動法人 応用斜面工学研究会

写真：令和6年能登半島地震の火災被害（輪島市内）

2024年

対面会場とオンラインのハイブリッド開催

11月18日 月 10:30~12:00

対面会場：山口大学工学部（山口県宇部市常盤台2-16-1）定員130名

オンライン：Zoomウェビナーによる同時配信 定員500名

災害の時代におけるコミュニティ防災のあり方

講師

室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授、兵庫県立大学 名誉教授
減災環境デザイン室 顧問



1944年生まれ。京都大学大学院修士課程建築学専攻修了。工学博士。神戸大学都市安全研究センター教授、独立行政法人消防研究所理事長、関西学院大学災害復興制度研究所長、兵庫県立大学減災復興政策研究科長を経て現職。消防審議会会長、日本火災学会会長、災害復興学会会長、地区防災計画学会会長、ひょうごボランティアプラザ所長、海外災害援助市民センター代表などを歴任。日本火災学会賞、日本建築学会論文賞、防災功労者内閣総理大臣賞、NHK放送文化賞、兵庫県社会賞、神戸新聞平和賞などを受賞。著書に「建築防災・安全」、「災害に立ち向かう人づくり」（編著）、「災害に向き合い、人間に寄り添う」など。

災害の進化が進んでいる。災害が進化すれば、防災も進化しなければならない。自治体の防災もコミュニティの防災も進化しなければならない。コミュニティ防災は、ボンド型の防災からブリッジ型の防災へ転換しなければならない。その具体的な転換として地区防災計画の推進が望まれる。

お申し込み方法



土木学会認定CPD 1.5単位

対面会場、オンラインいずれの場合も、山口大学地域レジリエンス研究センター防災・減災グループのホームページより**2024年11月11日（月）までに**事前申込をお願いいたします。定員に達した場合はその時点で締め切らせていただきます。

【お問い合わせ・お申込み】

山口大学 地域レジリエンス研究センター 防災・減災グループ

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

TEL:0836-85-9348

E-mail: cldpm@yamaguchi-u.ac.jp（担当：山本）

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html>

